

(一財)みやぎ建設総合センター

工業高校 建設技能実習
(多能工育成モデル)

実施期間 H30.5.17～H31.1.24

H31.3.15報告会

みやぎ建設総合センター概要

- H8.3 設立(宮城県、県内市町村、民間からの財源で産官学で運営)
- 事業 建設産業振興事業 現場見学会 体験学習 情報提供
人材育成事業 新入社員研修 技術力向上研修
技術開発事業 **新みやぎクラフトマン21**
雇用改善事業 大学との連携(ICT、維持管理技術)
建設労働者就業機会確保事業
建設労働者緊急育成支援事業

本活動の背景

・新みやぎクラフトマン21事業 H20～

事務局体制

宮城県教育委員会・仙台市教育委員会

宮城県産業人材対策課(電気・電子 機械 化学)

みやぎ建設総合センター(土木 建築 設備)

工業高校の生徒・先生を対象に技術力向上を図る

現場実習 技術者・技能者による実技授業 資格取得実技支援 コンテスト実技支援

石巻工業高校建築科3年 課題研究授業 技能班 男子6名

建築技能を外部講師から学ぶ 毎木曜日4,5,6校時
大屋根倉庫(3畳)の作成

加工前の準備 4/12～5/24



①板図作成

紙にかく図面と違って、板に書くとこれから木材を加工するという気持ちが高まる。

授業の製図よりも簡略化されているが全体がわかって頭に入りやすい。



②墨付け

基準線を出すときはすべての基本となる線なので緊張した。

木材の状態を確かめながら墨付けを行うことを学んだ。

木材加工

道具の使い方 5/17～6/28



③ホゾ穴

最初はなかなかほぞが穴に収まらなかった。

微妙な調整がうまくいかず何度もやり直したが上達してぴったり収まるとうれしかった。

あり継ぎなど、いろいろな技法があることが分かった。

④加工

初めて使う工具もあり、本格的な大工仕事という感じがして楽しかった。

仕口加工は難しく、はじめは手直し微調整をしたが作業が進むと道具に慣れてきて速くきれいになった。

建方

外へ運び出し組み立て 7/5～8/30



⑤土台

土台は実習室内で仮組していたので、すぐに外でも組むことができた。

ほぞがほぞ穴に収まり土台がしっかりできた時は安心した。

⑥軸組み

柱はうまく立たず調整が必要なところがあったが、外で柱が立った時は感動した。

軸組みができた後は、どんどん作業を進めたいと思った。

上棟式

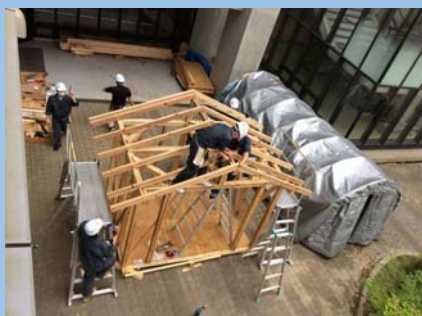
上棟式の起源講義 9/6～9/13



⑦上棟式

建て方の作業に入るとあっという間に家の形になり上棟式になったのは驚いた。

上棟式で玉串拝礼をしたときは厳かな気持ちになってよくここまで出来たなと思った。



⑧屋根垂木・野地板

垂木の打ち付けが一番難しかった。墨付けの印から垂木がずれてしまったり、釘がうまく刺さらないことが何度もあった。

野地板をはって屋根に上れるようになったときは、ほんとうにうれしかった。

ルーフィング サッシ取り付け 焼き板 棚作成

9/14～12/6



屋根葺きでは特に安全に気を付けて高所作業をした。

アスファルトルーフィングで覆う作業では、一枚一枚を交差するように貼り合わせるのが難しかった。

焼き板では木表と木裏を確認しないで失敗し、やり直しをした。



サッシの取り付けや棚作成など昨年まではない作業ができてよかった。

倉庫の完成 1/10報告書 1/17発表会 1/24完成報告



⑨完成

山小屋風の倉庫になり、同級生にも評判がよく、うれしかった。

去年の先輩方が作成した倉庫を見て衝撃を受けて、今年絶対自分もやってみたいと思ったが、大変ではあったが完成してほんとうに感動した。後輩にも体験してほしいと思った。

棚も取り付けて倉庫としての機能性も上がった。ぜひ長く使ってほしいと思う。

成果・効果

- 参加生徒 6名全員が授業内容を「とても満足した」と回答
- 参加生徒のうち1名が大工として工務店に就職予定
 - 1名が建築技能を学ぶ専門学校に進学予定
 - 1名が大学の建築学科進学予定
 - 2名が建設会社に就職予定
- 10月26、27日の学園祭で屋根葺きが終わった状態で一般公開して、近隣住民や隣接する小学校の児童にも見てもらった。1・2年生も倉庫の組み立てを見学をして興味を持っていた。
- 作成した倉庫は近隣の新橋町内会に防災用品を備蓄する倉庫として寄贈。町内の公園に設置した。近隣住民から感謝され、交流が生まれた。